

中部運輸局自動車技術安全部

令和7年6月19日 定例記者懇談会発表

Mission 1st
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～

(連絡先)

中部運輸局自動車技術安全部

保安・環境課 西川、島田

TEL: 052-952-8044

**！ 降りるときは扉が開くまで 座ったまま つかまったまま
～7月は「バス車内事故防止強化月間」です～**

中部管内においては、バスの乗客が車内において転倒するなどの車内事故は依然として多数発生しており、令和6年は69名が負傷され、そのうち5名が骨折などの重傷となっています。

中部運輸局では、7月を「バス車内事故防止強化月間」に定め、バス事業者に対して事故防止対策の徹底を要請するとともに、バスの乗客や一般ドライバーに対する周知啓発活動を実施します。

1. バスの乗客への啓発

バス車内やバスターミナル、公共施設等において、ポスターの掲示やチラシの配布などにより、「降りるときは扉が開くまで 座ったまま つかまったまま」について、バスの乗客への啓発を行います。

また、名古屋市内各区の社会福祉協議会及び名古屋市交通局の協力を得て、高齢者に対し「バス車内事故防止教室」を開催し、バス乗車時の安全意識の更なる向上を図ります。



(ポスター)

2. 一般ドライバーへの啓発

一般車両や自転車がバスの直前に無理に割り込み、バスが急停車することによって乗客が転倒する事故を防ぐため、バス以外の自動車関係団体及び地方公共団体に対しバス車内事故防止への協力を依頼するとともに、ポスターを用いて一般ドライバーへの啓発活動を実施します。

別紙1: バスの乗客への啓発ポスター

別紙2: バスの乗客への啓発チラシ

別紙3: 一般ドライバーへの啓発ポスター

● 国土交通省では、バスの乗客、一般ドライバー、バス運転者といった方々に対する適切な行動の啓発のために、バス車内事故の危険性を分かりやすく紹介する動画を作成しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

・【バス車内事故防止のための啓発動画】

https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000161.html

(車内事故防止教室の様子)

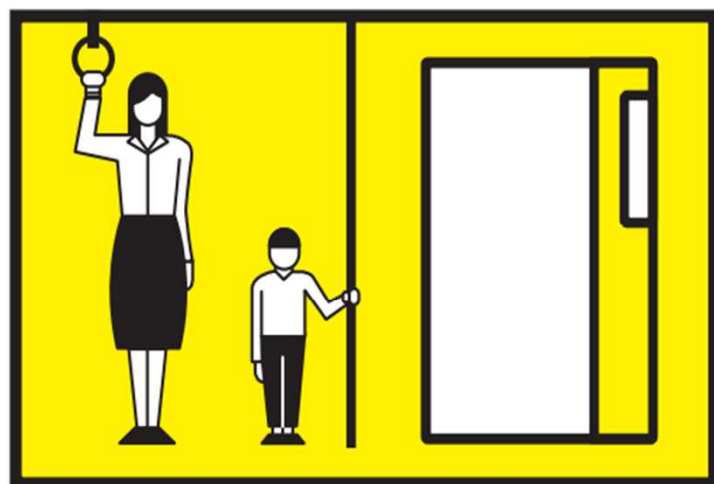
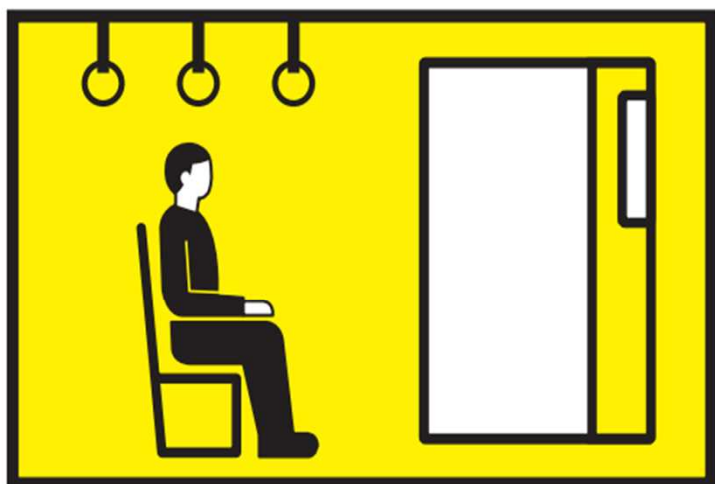




降りる時は 扉が開くまで

座ったまま

つかまったまま



バス走行中は手すり等にしっかりおつかまりのうえ、お降りの際はバスが停車してから移動してください。



車内事故防止啓発動画はこちら。

！ バスに乗ったら
座りましょう つかまりましょう



！ 走行している時は
座ったまま つかまったまま



！ 降りる時は
扉が開くまで
座ったまま つかまったまま



転倒事故から身を守る
～安全なバスの乗り方～



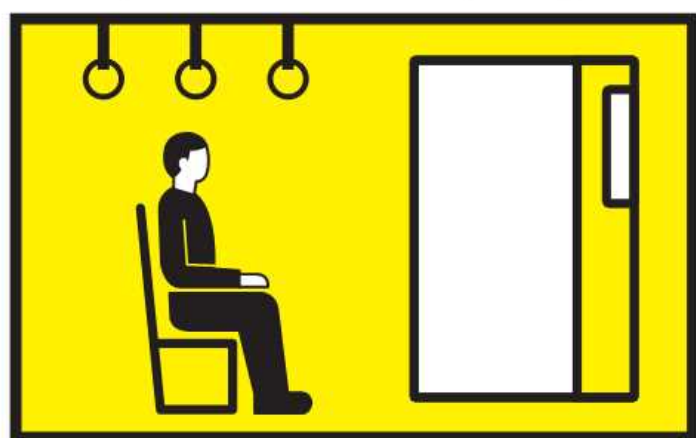
7月「車内事故防止月間」です

バス車内事故防止にご協力ください。

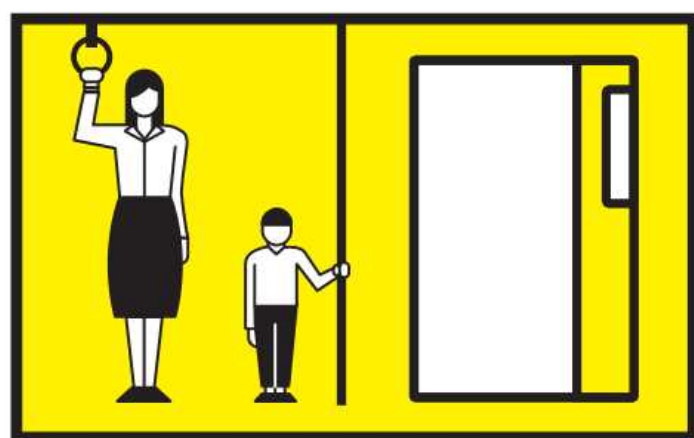


降りる時は 扉が開くまで

座ったまま



つかまったまま



7月は「バス車内事故防止月間」です

バス車内事故防止にご協力ください

バスは、プロのドライバーが運転する安全な乗り物ですが、衝突回避のためのやむを得ない急ブレーキなどにより、急停車することがあります。

こういった際、車内を移動していたり、つり革等につかまっていないと、転倒して骨折などの大きなケガにつながります。



国土交通省

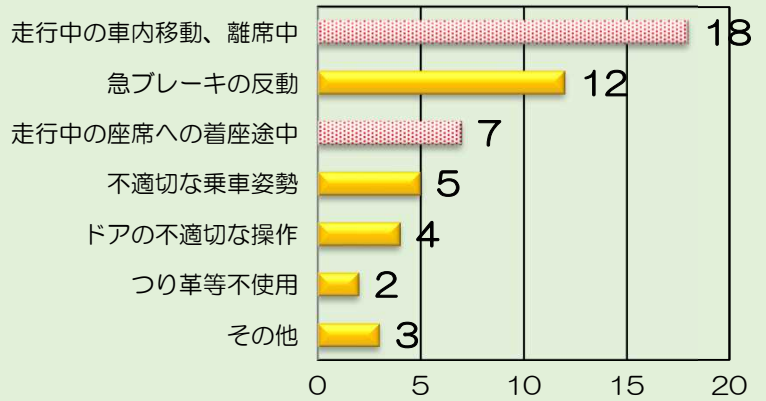
中部運輸局

Mission 1st
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～

バス車内事故で多くの方が負傷されています

車内事故での負傷者数（历年推移・中部運輸局管内）

年	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
重傷(人)	8	6	8	7	10	9	5
軽傷(人)	67	61	50	45	44	45	64
合計(人)	75	67	58	52	54	54	69



- 乗合バスでは、バスの乗客がバス車内で転倒などで負傷する「車内事故」により、依然として多くの方が負傷されています。
- 車内事故は、乗客が**走行中に車内を移動**している時や、**座席から立ち上がる時**に、バスの車両の振動や急ブレーキにより多く発生しています。
- また、**着座途中**にバランスを崩して転倒し負傷する事故もみられます。

～安全な乗車のために～

バス走行中は手すり等にしっかりおつかまりのうえ、お降りの際はバスが停車してから移動してください。



- 立席・着座問わず、手すりやつり革等に必ずつかまり、走行中の移動はやめましょう！
- お降りの際も、バスが完全に停車しバスの扉が開くまで移動はお控えください。
- やむを得ず急ブレーキをかける場合があります。手すりやつり革にしっかりつかまる、座席に深く腰掛けるを心がけ、転倒及び横転防止に努めてください。

※車いす等をご利用の方の乗車については、バス事業者にご相談ください。

お年寄りやお体の不自由な方、妊婦の方、小さなお子様連れの方に席をお譲りください。

お年寄り、お体の不自由な方、妊婦の方および小さなお子様連れの方が、バス車内において事故に遭われますと、大きな怪我に繋がるおそれがあります。

上記の方を見かけられましたら、席をお譲りいただくなど、車内事故防止に向けた取組みにご理解ご協力をお願いいたします。



国土交通省では、動画を作成し車内事故防止啓発を行っております。是非ご覧頂き車内事故防止にご協力をお願いします。

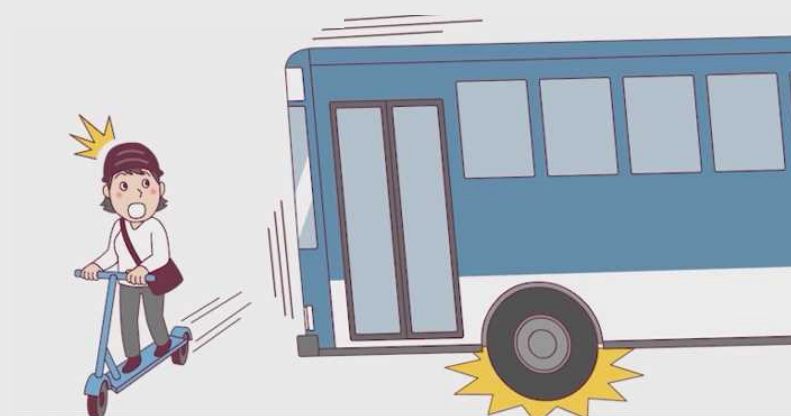
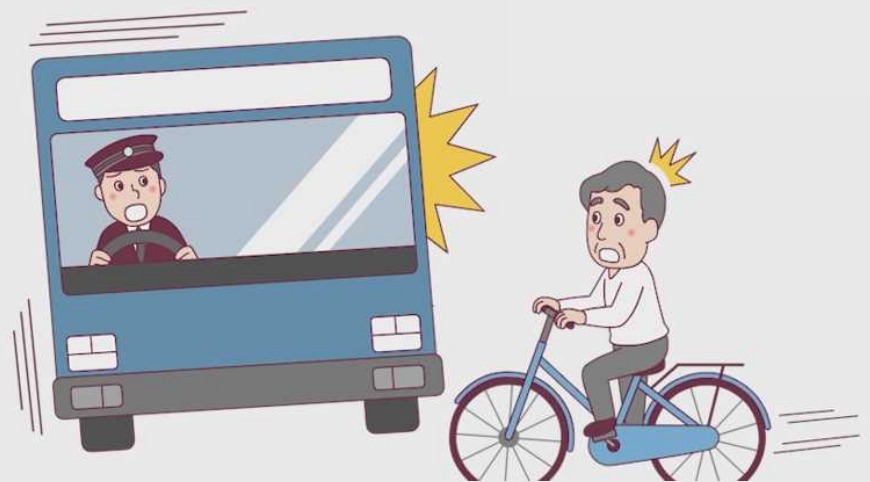
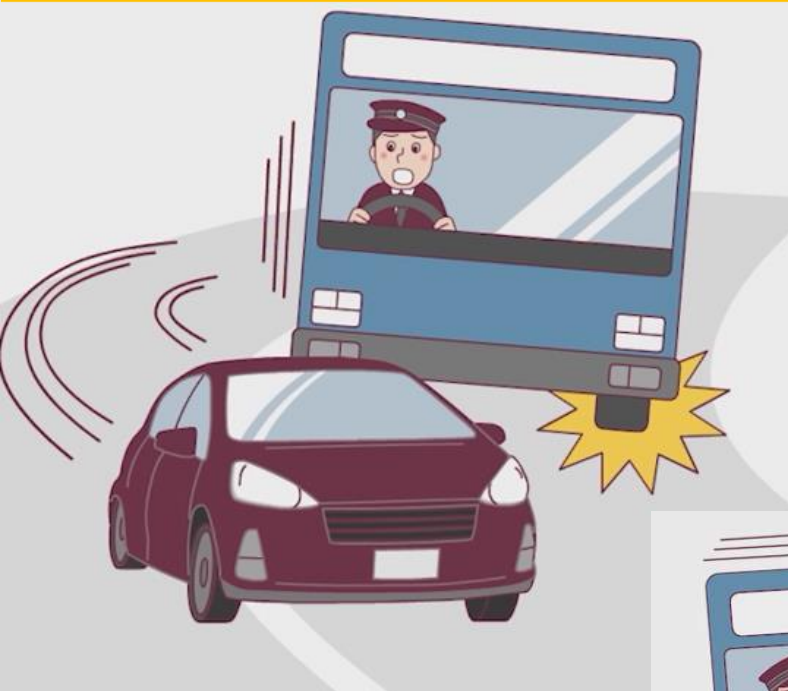
URL
https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_00_0161.html

二次元コード



無理と急が呼ぶ 車内事故！

バスへの無理な割り込み、急な飛び出し
は車内事故につながります。



国土交通省

中部運輸局

Mission 1st
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～